

関連科目、教科書および補助教材	
関連科目	財務会計論Ⅰ・Ⅱ
教科書	教員がその都度指定
補助教材等	プリント
学習上の留意点	
<p>講義は、輪読、プレゼンテーション方式で実施する。発表する学生は、毎回、パワーポイントを作成すること。学生は、毎回、授業に出席する際は、その回で学習する分野の事前学習をしておくこと。自分の発表担当以外の個所もしっかりテキストを読み準備をしておくこと。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>専門科目に入ると、初めて聞く内容が増えてきて理解するのも大変になります。この講座では、教科書に出てくる難解な内容をできるだけかみくだいて説明したり、身の回りの具体的なものに例えて説明することを心がけて授業を行う予定です。進む進度もすこしゆっくりめに設定しています。</p>	

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	1. コンバージェンスをめぐる国際的な動向 歴史的展開 コンバージェンスをめぐる現状と課題 IASBの活動	会計の国際的なコンバージェンスの動きについて理解できる。	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること。 (復習) 課題や授業終了後の練習問題にて理解すること。
2			
3			
4	2.. コンバージェンスをめぐる基本思考 概念フレームワーク 財務報告の主体と範囲 収益費用アプローチ 資産負債アプローチ 認識と測定	国際財務報告基準の基本的枠組みが理解できる。	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること。 (復習) 課題や授業終了後の練習問題にて理解すること。
5			
6			
7	3. 各論 金融商品 実現概念	金融商品の時価評価について理解できる。	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること。 (復習) 課題や授業終了後の練習問題にて理解すること。
8			
9			
10	3. 各論 財務諸表の表示 負債と資本の区分	資本と負債について区別が理解できる。	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること。 (復習) 課題や授業終了後の練習問題にて理解すること。
11			
12	3. 各論 ホリスティック観	ホリスティック観が理解できる。	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること。 (復習) 課題や授業終了後の練習問題にて理解すること。
13			
14			
学年末試験			
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	・試験問題の解説を通じて、間違った箇所を理解できる。 ・全体の学習事項のまとめが理解できる。	
総 学 習 時 間 数			90 時間
講 義			30 時間
自学自習			60 時間